

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 1 月 16 日(2025.1.16)

【公開番号】特開 2023-112330(P2023-112330A)  
【公開日】令和 5 年 8 月 14 日(2023.8.14)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-151  
【出願番号】特願 2022-14057(P2022-14057)  
【国際特許分類】

**F 1 6 F 15/134(2006.01)**

10

【F I】

F 1 6 F 15/134 D

F 1 6 F 15/134 A

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 1 月 7 日(2025.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0007】

本発明のある側面に係るダンパ装置は、動力源側の部材に対して軸方向の第 1 側において取り付けられるように構成されている。ダンパ装置は、ダンパユニットと、トルクリミッタユニットとを備える。トルクリミッタユニットは、動力源側の部材に取り付けられるように構成される。ダンパユニットは、第 1 入力プレート、第 2 入力プレート、締結部、出力プレート、及び弾性部材を有する。第 2 入力プレートは、第 1 入力プレートに対して軸方向の第 2 側に配置されている。第 2 入力プレートは、第 1 入力プレートと一体的に回転する。締結部は、第 1 入力プレートと 2 入力プレートとを締結する。弾性部材は、出力プレートと第 1 及び第 2 入力プレートとを弾性的に接続する。トルクリミッタユニットは、環状の第 1 サイドプレート、環状の第 2 サイドプレート、摩擦プレート、及び第 1 摩擦材を有する。第 2 サイドプレートは、第 1 サイドプレートに対して軸方向の第 2 側に配置される。第 2 サイドプレートは、第 1 サイドプレートと軸方向において間隔をあけて配置される。摩擦プレートは、第 1 及び第 2 入力プレートと一体的に回転する。第 1 摩擦材は、摩擦プレートと第 1 サイドプレートとの間に配置される。第 1 入力プレートの外周端部は、第 1 サイドプレートの内周端部に対して軸方向の第 1 側に配置される。第 1 入力プレートの外径は、第 1 サイドプレートの内径よりも大きい。締結部は、第 1 サイドプレートに対して軸方向の第 1 側に配置される。

30

40

50